

# 水戸空襲を知る — 戦後76年

2021年は、終戦から76年。今夏、常陽藝文センターでは、戦争の記憶を、特に「水戸空襲」にスポットを当て、様々な形で皆様にお伝えしていきます。

## 受講生募集中！

◆藝文学苑講座「水戸市民の戦争体験  
— 史料・証言からの復元」

7/18, 7/25, 8/1

日曜 13時30分～15時

■講師 佐々木 啓 (茨城大学人文社会科学部准教授)

■講義日時 日曜 13時30分～15時

■講座内容

- ①7/18「東条英機を批判した市民たち: 東天会、突撃隊の活動を追う」
- ②7/25「水戸空襲下の市民たち: その体験の歴史的位罫」
- ③8/1 「旧制水戸高校のストライキ: 戦後への出発点」

■受講料 [会員]6,600円 [一般]8,250円 (消費税込・3回分)

■お申込み・お問合せは、藝文学苑まで  
受付: 火～日曜 10時～17時(月曜休館)



講師: 佐々木 啓 (茨城大学)

2021年は戦後76年に当たります。戦争体験者はいよいよ少数派となり、その記憶の継承が課題となっております。本講座では、敗戦前後の水戸で市民がどのような戦争体験をしたのか、史料・証言からあらためて考察していきます。

## ◆常陽藝文2021年8月号 藝文風土記「水戸空襲を絵画に残す」

水戸市内の画廊主であり、洋画家でもあった滝田浩(1932-2020)が遺したスケッチ作品から、水戸空襲の実態を探り平和について考えます。



## ◆藝文プラザ 「水戸空襲を描く展」

■会場 常陽藝文センター 1F 藝文プラザ

■会期 8月4日(水)～8月19日(木)

※最終日は13時で終了

※休館日 毎週月曜、8月8日(日)～8月10日(火)



公益財団法人常陽藝文センター  
☎ 029-231-6611(代)  
ホームページ: <http://www.joyogeibun.or.jp>

